練馬東小だより

令和4年3月吉日 練馬区立練馬東小学校 校長 髙野 正之 学校評価特集号

【3つのモットー】 つづける つたえる つながる

「令和3年度 練馬東小学校の教育についてのアンケート」 (保護者・児童) の結果について

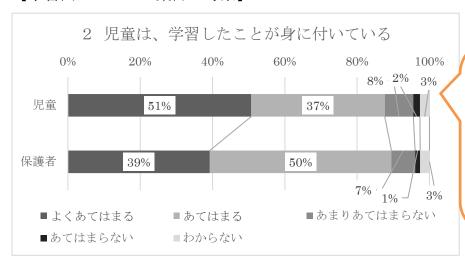
日頃より本校の教育活動に御理解、御協力いただきありがとうございます。

さて、先般実施させていただきました「令和3年度 練馬東小学校の教育についてのアンケート」については、 多くの保護者の皆様から回答をいただき、感謝申し上げます。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。 この結果を次年度の教育計画に生かしてまいります。今後とも御協力の程よろしくお願いいたします。

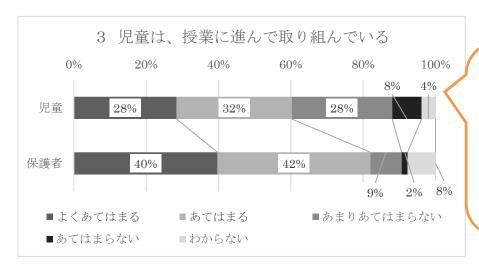
実施時期: 令和3年11月26日(金)~12月6日(月) 実施

回収状況: 保護者アンケート 配布数 523名 回収数 427枚 回収率 81.6%

【学習面についての集計と考察】

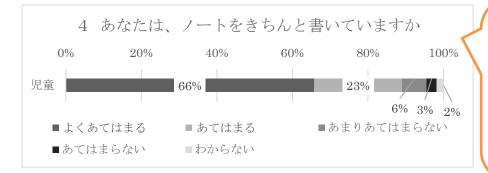


88%の児童が肯定的な回答をしています。肯定的な回答を得られていない10%の児童も含め、学習意欲を喚起し、分かる喜びが実感できるよう、指導力の向上に努めていきます。また、学習内容の確実な定着に向けて、ドリル等を活用して、繰り返し指導していきます。

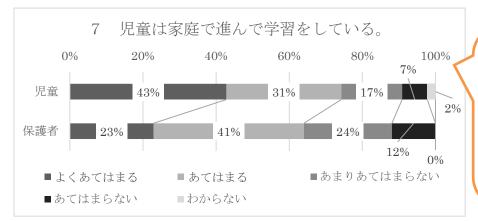


興味を高められるような教材の提示、タブレット学習の導入、人との関わりの中で自分の考えを深める場の設定など、指導法の改善に努めます。

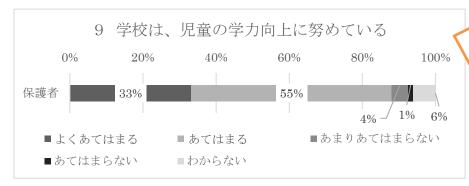
「分かった。楽しかった。もっとやってみよう。」と思えるように、学習 意欲を引き出し、自主性を育てるため の方策に取り組みます。



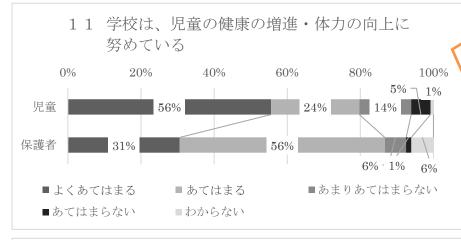
ノート作りは学習の基本です。自 分の考えをまとめ、次時の学習に生 かすことができます。考えを詳しく 書いている児童のノートを紹介した り、教科書にあるノートの書き方例 を参考にさせたりしながら、学習し たことが一目で分かるノートの指導 を継続していきます。



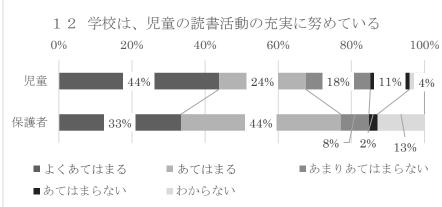
本校では、「学年×10+10分」の家庭学習を呼び掛けています。授業で学んだことを定着させ、活用できるようにするためには、宿題以外の自主学習が重要です。タブレットも活用しながら、個々の実態に合わせた取組を学校からも提案していきます。



学力向上を目指し、算数のベーシックテストや各教科のワークテストの結果を生かした授業改善に、より一層努めます。特に算数では、学習内容を確実に定着させられるよう、習熟度別学習の充実を図り、東京ベーシックドリルの活用を推進していきます。

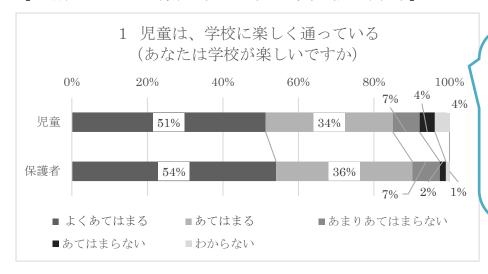


マラソンカードやなわとびカードを、6年間の記録が分かるように1枚にまとめました。学年に応じて各自でめあてをもち、体力の向上を実感し、やる気を引き出しました。また、マラソンタイムやなわ跳び週間など、休み時間にも体を動かす機会を設けました。引き続き、工夫をしながら健康増進・体力向上に努めていきます。



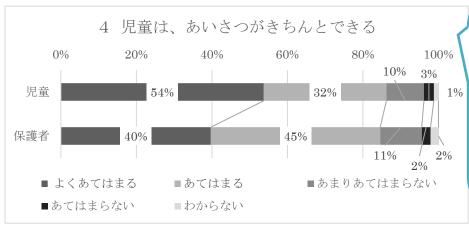
学期に1回ずつ読書期間を設けて、読書活動の充実に努めました。おすすめの本を書いた図書郵便、本のスタンプラリーや、給食献立とコラボしたブックメニューの紹介、「ねりまお話の会」によるお話会やブックトークなど様々な活動を行いました。春日町図書館からの団体貸し出しも活用し、読書機会を増やしていきます。

【生活面についての集計(グラフ)と考察(吹き出し)】



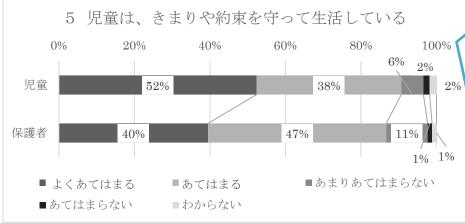
感染症予防のために、児童が楽しみ にしている活動や行事に、制限や制約 が多くある中で、児童、保護者共に、 高い割合の肯定的な回答をいただきま した。

しばらく続くことが予想される厳し い時勢の中、少しでも児童が、学校が 楽しいと思えるよう、来年度の教育活 動に向け、教職員で総力を挙げて工夫 していきます。



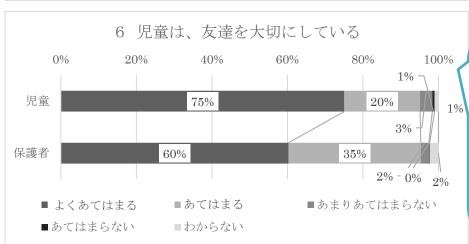
毎朝、正門に立ち、児童の登校の様子を見守る看護当番の教員からは、子供たちの挨拶が活発になり、習慣化していることが報告されています。一方で、教員や児童同士に加え、保護者や地域の方々などに、すすんで挨拶することは、指導上の課題の一つです。

今できている挨拶が、とても素敵なことであると価値付けることで、児童が自己肯定感を高め、挨拶の質をより高めていけるよう励ましていきます。



感染症予防に関連し、きまりや注意 点が多くある学校生活の中、児童はよ く意識して行動することができている と感じています。

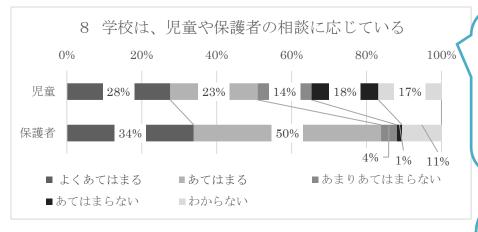
集団生活におけるきまりは、守ることで、自分のためだけでなく、友達や、学校全体のためにもなります。きまりの意味や意義を丁寧に指導し、守れたという実感と、成果がより一層、感じられるように、日々の声掛けや指導を工夫していきます。

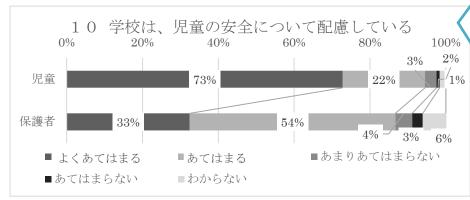


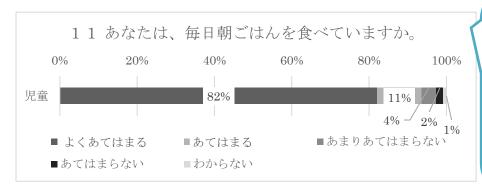
学期ごとのふれあい月間の取組など を通し、児童が互いを大切にし合う姿 勢や態度の育みを目指し、指導を工夫 しています。

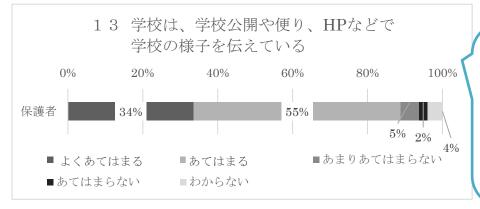
グループや集団での関わりや交流の機会が著しく減少しているなかで、他者との関わりのよさや喜びを実感できる教育活動の工夫は、大きな課題です。

学校行事や取組などをはじめ、毎日の授業などで、児童が、互いを大切にし合い、それを実感できるよう、授業改善に努めていきます。









14 学校は、保護者、地域と協力して 教育活動を進めている 0% 20% 40% 60% 80% 100% 保護者 50% 3% ■あまりあてはまらない ■ よくあてはまる ■あてはまる ■あてはまらない ■わからない

アンケート結果から、児童、保護者に 対する学校の相談体制について課題を 感じます。

学校生活に対して、児童や保護者の抱く不安に、学級担任をはじめ、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員など、児童や保護者の思いに寄り添った相談体制の更なる充実に取り組んでまいります。

児童の安全な登下校について、繰り返し指導するとともに、教員が近隣を 定期的に見回るなどしています。

集団登校と併せ、個人登校の期間を 設けたことで、児童の主体的な安全に 対する意識の高まりが生活指導のアン ケート結果からも確認できています。

毎月の安全指導をはじめ、安全に対 する、より確かな意識を育めるよう、 指導を工夫していきます。

家庭での基本的な生活習慣の確立に 寄り添っていただき、誠にありがとう ございます。児童からは、高い割合の 肯定的な回答が見られます。

朝御飯の大切さについての学級指導 をはじめ、身体測定時の養護教諭から、 健康に関する指導を行うなど、充実に 努めています。

児童が元気に過ごせるよう、御理 解・御協力のほど、よろしくお願いし ます。

学校公開等、児童の学校生活の様子をお伝えする機会が、思うように設けられないことを、学校として非常に残念に思っています。

感染状況等、時勢に合わせ、授業公開や行事のもち方を工夫することや、学校 HP、学校・学年便りなどを通して、児童の様子を、より分かりやすくお伝えできるように努めていきます。

コミュニティ・スクールの導入に向けて、学校と保護者、地域が、これまで以上に力を合わせられるようにしていきます。来年度に向け、様々な場面で、保護者、地域の方々と、教育活動を工夫し、授業を作り上げていけるよう充実に努めていきます。児童の、より豊かな学びを目指し、御協力いただけましたら幸いです。